2022年12月14日（水）

「水曜サロン with 赤堀会長」第3期 第10回（通算40回）

テクノロジーとコミュニティの力で「副業先生」がつなぐ学校と社会
～元教員が起業した背景と今後の教育業界の未来を語る～
金谷 智氏（株式会社LX DESIGN代表取締役CEO）

１．内容

・企業の背景と想い

２．所感

本日は、外部人材の知見を生かしたい学校・教育機関と自分の専門分野を生かして教育に関わりたい外部人材のマッチングサービスの紹介です。そのサービスは副業先生。私立先進校からスタートして、今は学校数では公立が圧倒的に多くなってきているとのことです。質疑の時間に、感想としてありました「このような形で学校と社会がつながっていくと素晴らし」この言葉に尽きるかなと思います。この副業先生は、学校現場のニーズと思いきや、それだけではなく、企業、自治体のニーズもなかなか興味深く、共有いただきました。

企業では、ESGの取り組み、エンゲージメント向上、社員のリスキリング・エンプロイアビリティ向上などに有用なのではないか。そして、自治体においては、地方創生の観点で、都心に就職して離れた人が地元で副業先生をして地元貢献、起業・創業の推進に副業先生、シニア世代との多世代共生、地域の文化資産を次世代に引き継ぐなど、さまざまな活用が模索されているようです。どうやって、登録副業先生を増やしてきたのか。一つは潜在的にやりたい人財が多いこと。教員になれるのは、人口の１％。登録されている副業先生の教員免許保有率は20%、様々な理由で先生にはなられていないが、志高く、空いている時間を使って学校に出向く覚悟と使命感を持っている人たちは多いようです。その他にも、副業先生で授業を行った人が、SNSで紹介したり、同級生の横のつながりで広がったり、学校広報誌、企業社内広報、自治体の広報などで知っていただいたりと、さまざまな広がりを見せているようです。研修制度も用意されており、養成講座や、授業前のコーディネータとのチューニングなどで双方満足度の高い授業をサポートしているようです。

金谷さんの言葉でものすごく心に残ったものがありましたのでご紹介します。教育実習と重ね合わせて、日頃、現場の先生方が、子どもたちといい関係性を築いて、副業先生をお呼びするお膳立てをしている、その先生が呼ぶ副業先生だから、子どもたちも期待して、満足する。金谷さんの夢は大きく、ノーベル平和賞をコミュニティーに贈ること。すでに、海外で展開すべく、現地の方をまじえてのプロジェクトを始めているようです。楽しみです。最後に、赤堀さんが、また高校で教壇に立ちたいようです。金谷さん、赤堀さんを副業先生に登録して差し上げてください！（笑）金谷さん、本日はありがとうございました。

以上